

がけ地近接等状況調書

(注) ①この調書は、敷地内外に高低差があり、その差が2 m以上のときに添付してください。 ②正・副にそれぞれ添付してください。							
1	建築主の住所・氏名	TEL ()					
2	設計者の住所・氏名	TEL ()					
3	建築地名地番						
4	概要	敷地面積	m ²	工事種別		建築面積	m ²
		用途		構造階数		延べ面積	m ²
5	過去における災害の有無	無 有 (年)					
「有」の場合、その後の防止対策をどのようにしたか具体的に明示してください。							
6	危険区域の指定の有無	無 有 (指定年月日 年 月 日)					
「有」の場合は、 <input type="checkbox"/> 欄にチェックを付けてください。 <input type="checkbox"/> ①急傾斜地崩壊危険区域 <input type="checkbox"/> ②災害危険区域 <input type="checkbox"/> ③地すべり防止区域 <input type="checkbox"/> ④土砂災害警戒区域 <input type="checkbox"/> ⑤土砂災害特別警戒区域 <input type="checkbox"/> ⑥その他 () ▼①②③に該当する場合は、別途、許可が必要です。許可書の写しを添付してください。 ▼④⑤⑥に該当する場合は、申請前に市町村及び各総合支庁に相談してください。							
7	添付図書等						
①1/2500の見取図（等高線の入ったもの）を添付してください。 ②配置図に敷地内及び周囲の高低を表示し、既設・新設の擁壁の位置やノリ等を表示してください。 ③敷地の横断図（縮尺1/200）を添付してください。 現状地盤、計画地盤、がけ地(山)状況、既設・新設の擁壁の位置、建物の位置がわかるようにしてください。 ④新たに擁壁を設ける場合は、その構造詳細図及び設計書を添付してください。 ⑤現況の高低や周囲の状況がわかる写真を添付してください。（枚数に規定はありません）							
8	がけ地等からの『離れ』						
原則として『がけ』の高さの2倍以上の『離れ』を確保する必要があります。 『離れ』がとれない場合は、確認申請前に市役所及び各総合支庁に事前相談してください。 (参考図)							
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">がけの下に建築するとき</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">がけの上に建築するとき</div> </div> <p style="text-align: center;">2H (法下端から外壁まで)</p> <p style="text-align: center;">2H (法上端から外壁まで)</p> <p style="text-align: center;">H (がけの高さ) H ≥ 2 m の場合該当</p> <p style="text-align: center;">30度以上</p>							